

空手道の寒稽古



1月14日、厳しい寒さの中、空手道スポーツ少年団による寒稽古が行われ、団員約20名が参加しました。

年のはじめに無病息災を祈願し、心身を引き締めることを目的として、寒稽古ですが、浜辺には保育園児から青年までの団員が集まり、例年は零下を下回る寒さから泣き出す団員もいましたが、今年は比較的温暖だったことから、厳しいながらも、時折笑顔ものぞかせる稽古となりました。

同少年団では、4月の全道大会、そしてその先にある8月の全国大会を目指して日々鍛錬しており、また今年7月オープン予定の上ノ国町スポーツセンターでは地元大会の開催を予定しているとのこと、新たな年に待ち受ける新たな挑戦に、全団員が期待と気迫に満ちた表情で稽古を終えています。

迫りくる災害や火災に備えて



1月4日、町内全ての消防団と婦人防火クラブが参加する『上ノ国町消防団出初式』が開催され、約110名が年の始めに一年の防災と減災を誓いました。

昨年、本町では、2件の火災が発生したほか、9月に上陸した台風18号の影響により天の川が氾濫寸前の危険な水位となるなど、百年に一度と言われる災害に見舞われましたが、その中で消防団は、小森地区などで高齢者を避難所まで移送するなど、災害活動を行いました。

このことについて、式辞を述べた飛鳥消防団長は、住民の負託に応えるため、災害の未然防止や被害の軽減に努めてゆかなければならないと、平成最後の年の始まりに、団員へ強くメッセージを発していました。

大人にも子どもにも大人気 夜間スキー教室



1月から2月にかけて、湯ノ岱スキー場では、上ノ国スキー連盟（住吉泰文会長）が主催する夜間スキー・スノーボード教室が開催されています。

この教室は、ウィンタースポーツの楽しさに触れ合ってもらおうと、スキーが週2回、スノーボードが週1回のペースで開催され、1月は町内外の児童たちが両教室合わせて約50名が参加しています。

そのほとんどは初心者ですが、なかには家族と一緒に上達することを目標に受講している親子づれもいました。

子どもから大人までが気軽に参加できる同教室は2月も開講され、途中からの受講も受け付けておりますので、ご興味のある方は広報1月号をご覧ください。

大寒波襲来 水道管凍結や停電など影響



1月23日頃から1月26日現在にかけて、全国的な大寒波が襲来し、本町にも多くの影響が出ました。

連日、気温は零度を下回り、暴風浪警報が発表されるなか、町内各地では降雪の影響で日中に広範囲で停電が発生したほか、水道管凍結も多発し、上ノ国小学校前では地吹雪で視界が奪われることから、先生方などが横断歩道前に立つて生徒の登校を見守るなど、寒波の影響が際立っています。

北海道各地でも数十年に一度とされる寒波と記録的な大雪が訪れ、喜茂別町では、今季最低となるマイナス31.3度を記録したほか、東京都でも48年ぶりにマイナス4度を記録しました。

また、今冬は一時的に暖かくなっても、急速に発達する低気圧によつて、気象が激変することからも油断できません。

1年で最も気温が下がる2月はさらなる警戒が必要となりますので、健康はもちろんのこと、突然の停電や水道管の凍結などに備えて、寒さを乗り切りましょう。